

Title	XE642 RF
Size Number	Rev
A2	
Date	1996/9/26
Drawn by	Shiratori
Filename	Sheet
	of
	F

A B C D E F

#### 4. 送受信手順と回路の説明

第 3 項で述べたように、スペクトル拡散を停止する機能は、製造上の検査のために設けているものであり、また、スペクトル拡散を停止した状態では情報変調も行うことはできない。これらのことから、スペクトル拡散を停止した状態で情報の通信が行えることは想定していない。

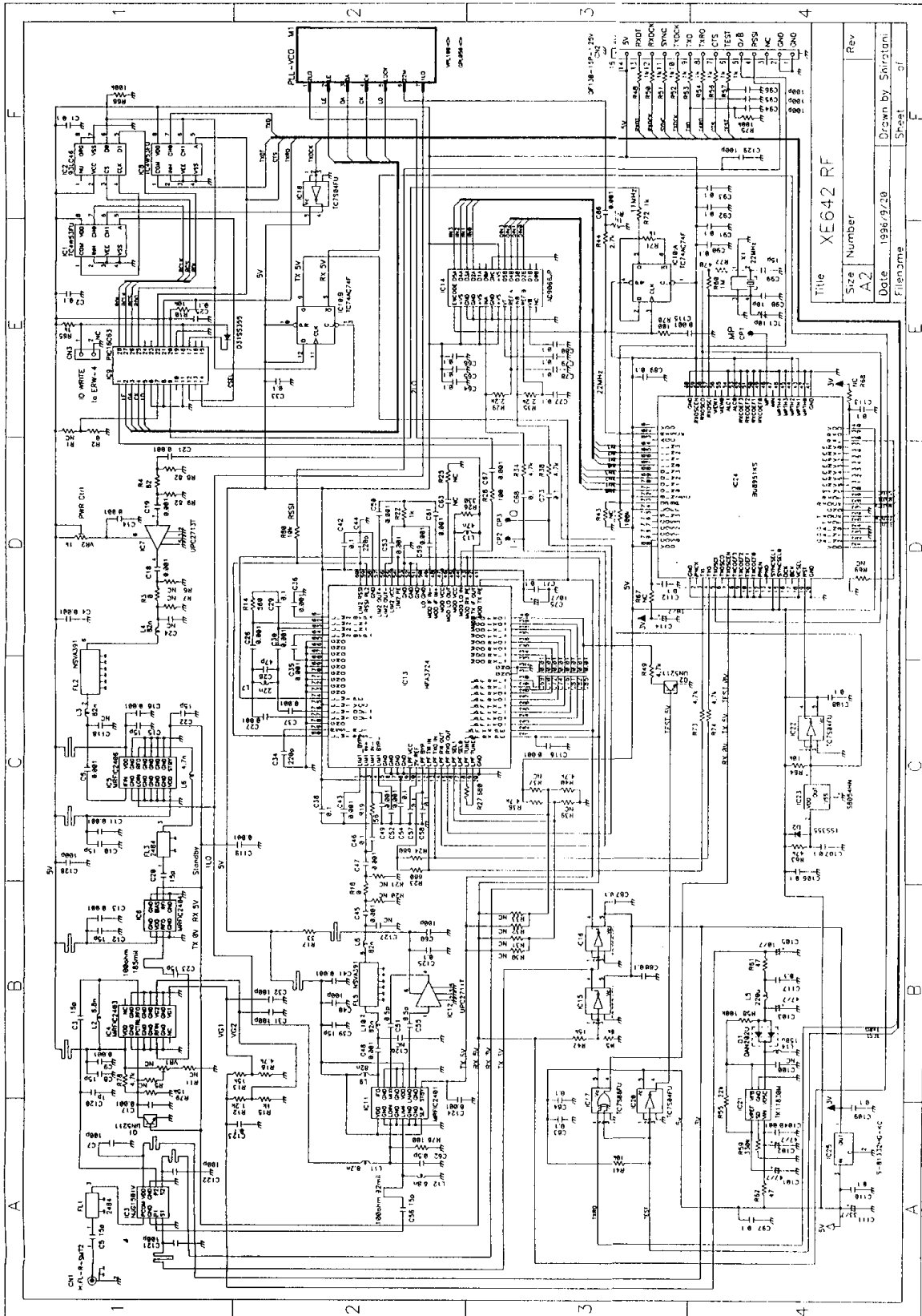
通常 of 送信は、インターフェース端子 CN2:TXRQ(8 ピン)を L にすることで行うことができる。

TXRQ 信号は、CPU:IC9 PIC16C63(21 ピン)に入力され、PLL のロックが確認された後、14 ピンを H にする。IC9 の 14 ピンは D-FF:IC10B のリセット 13 ピンに接続されており、H になることでリセットされ、送信データクロックが D-FF に入力されることで送受信制御電圧が切り替わり、送信状態となる、

一方、受信時は、D-FF:IC10B のリセット 13 ピンが CPU によって L になり受信状態を保持する。

以上





Title		XE642 RF	
Size	Number	Rev	
A2			
Date	1996/9/20	Drawn by	Shirofumi
Filename		Sheet	of